



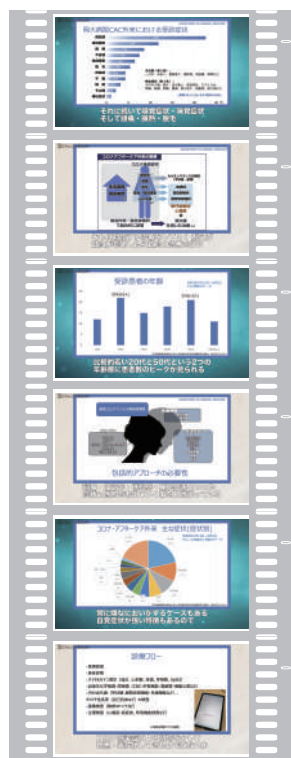
POINT 1
コロナ後遺症を引き起こす
3つのメカニズム

POINT 2
デルタ株に対する
ワクチンの効果

POINT 3
コロナ後遺症外来の
進展と課題



コロナ
後遺症



岡山大学大学院医歯薬学
総合研究科 総合内科学分野
教授

おおつか ふみお
大塚 文男 先生

●経歴
1992年岡山大学医学部卒業。
米カリフォルニア大学サン
ディエゴ校医学部研究員、
岡山大学病院内分泌センター
准教授、同センター長などを
経て、2012年から現職。
2017年から岡山大学病院副
病院長。

●専門分野
総合内科・総合診療、内分泌代謝、
リウマチ

感染拡大長期化に伴い、後遺症に苦しむ人も増えています。対応できる医療機関の数も十分とはいえず、後遺症は日常生活を取り戻すためのハードルになっています。コロナ後遺症を引き起こす主なメカニズムは、3つあることは分かっているものの、未解明な部分も多く、確立された治療方法はありません。ワクチン接種とコロナ後遺症の関係性に目を向けると、欧州のデータでは、ワクチン接種後の方が後遺症が軽化する・短期間で治療することが示唆されています。各県医師会単位で後遺症外来対策も強化される動きも報じられ、外来・クリニック、あるいは病院間の連携を介し、患者データを収集し、治療・予防の方策を共有できる早急な仕組み形成が望まれます。今後も注目されるであろう、コロナ後遺症外来のいまと今後の課題について伺いました。

③3:08

コロナ後遺症外来での
治療のいま

コロナ後遺症における
ワクチン接種の有効性

脂肪肝

代謝異常を伴う脂肪性肝疾患
～新概念MAFLDの現況～

16:16



脂肪肝の新診断基準「MAFLD」とは？

肥満や糖尿病などの代謝異常は肝線維化進展の危険因子であり、脂肪肝と代謝異常を合わせたMetabolic associated fatty liver disease(MAFLD)という新概念が2020年、22カ国32人の専門医から成るInternational Expert Panelにより提唱されました。

川口先生は、非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD)とMAFLDの肝線維化予測能について比較検討した結果を第57回日本肝臓学会にて発表しました。発表を通し、「MAFLDはNAFLDに比べ、肝線維化スクリーニングの指標として適している」と報告されています。新診断基準として注目されるMAFLDについて、詳しく伺いました。



久留米大学 消化器内科 准教授

川口 巧 先生

●専門分野
肝臓病の栄養療法・運動療法・脂肪肝
●主な所属学会
日本消化器学会 九州支部評議員・専門医・国際委員会、日本肝臓学会 評議員・指導医・専門医日本病態栄養学会 評議員、日本肝臓学会・日本糖尿病学会合同研究会
「肝臓と糖尿病・代謝研究会」委員会



亜鉛

味覚障害と低亜鉛血症

12:11



- POINT 1 『味蕾』と亜鉛
- POINT 2 血清亜鉛濃度の基準値
- POINT 3 低亜鉛血症の治療

味覚は、食事の「おいしさ」を感じる感覚であるのと同時に、ヒトにとって有害なものを回避するためにも重要な役割を担っています。味覚障害は食の楽しみを奪うだけでなく、健康維持にも悪影響を与える可能性があります。今回は、味覚障害の原因と亜鉛の関係、低亜鉛血症の診断と、味覚障害の治療について解説いただきました。

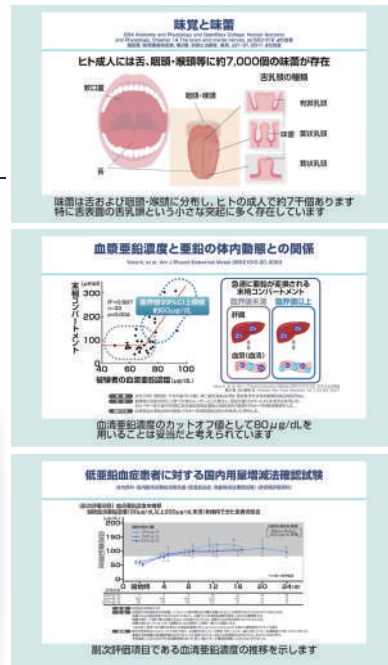
提供：ノーベルファーマ株式会社



日本大学医学部
耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野

田中 真琴 先生

●ご紹介
日本大学医学部卒業。40年以上にわたる治療実績を誇る日本大学医学部附属板橋病院内の味覚外来を担当。日本耳鼻咽喉科学会認定専門医。日本口腔・咽頭科学会、日本味と匂学会に所属。
●専門分野：味覚障害、耳鼻咽喉科一般



横浜市立大学病院 地域医療セミナー 全40診療科随時掲載予定

横浜市立大学病院主催で行われる地域医療セミナーのアーカイブをClinical Cloudにて掲載いたします。随時各診療科の講演が公開されますので、是非ご視聴ください。



18:41

乳がん診療における 地域医療連携充実にむけて ～乳がん術後の経過について～



横浜市立大学附属病院
乳腺外科
山田 顕光 先生

- アジェンダ
- ①同院の初診から手術、治療の流れ
 - ②乳がん術後フォロー
 - ③処方元・多職種連携の課題



21:45

遺伝診療の進歩と 遺伝カウンセリング ～診断のつかない患者さんを診ている先生方に 是非知っていただきたいこと～



横浜市立大学附属病院
遺伝子診療科 認定遺伝カウンセラー
高橋 里奈 先生

- アジェンダ
- ①遺伝カウンセリングの対象疾患
 - ②遺伝的検査とは
 - ③IRUDの概要と実績

CLINICAL CLOUD
LIVE
クリックライブ

超速効型インスリン製剤の新しい選択

～当院でのインスリンバイオシミラー導入事例を踏まえて～



日時

2021年10月15日 金

第一部

12:30-13:00

第二部

13:15-13:45

医療費を不安に感じている糖尿病患者は多く、自己負担の軽減に繋がる後発品・バイオシミラーへの期待が高まっています。本講演では、インスリン製剤のバイオシミラーの事例を基に、患者・医療者双方の視点から、導入の意義についてご解説いただきます。

本LIVEセミナーは「サノフィe-MR」会員限定のセミナーをClinical CloudでLIVE同時配信いたします。



演者

済生会川口総合病院糖尿病・内分泌内科
主任部長

田中 聡 先生

●専門分野
内分泌(下垂体・甲状腺・副甲状腺
・副腎疾患)・糖尿病

Insulin
aspart Sanofi